

白鬚神社の秋祭りに伴い社殿を公開します

白鬚神社のある毛野地区は、足利地方の首長の古墳といわれている常見古墳群があります。それらの支配者を支えた人々の中に、朝鮮半島から渡ってきた渡来人がいたと言われており、そうした渡来人が白鬚明神を祀ったのが、この神社の始まりと言い伝えられてきました。

当時の渡来人は、東国の各地に集団で移住し、生活を始めた。その生活のよりどころとして、自分たちの信仰していた神様を祀り、ここ山川では白鬚明神を祀ったといわれています。

白鬚明神は大陸から渡ってきた氏族の祭神であったものが猿田彦に転じたものとされています。一方で白鬚神社はシラギの別称で、新羅神社であるといわれ、関東では白鬚神社の分布は「高麗郡」や「新羅郡」のある埼玉県が断然多いことがその根拠になっています。

記

1. 公開日時 令和5年10月14日（土） 午前10時から午後3時まで
10月15日（日） 午前10時から午後3時まで

2. 公開内容

- 本殿・幣殿・拝殿の内部

- 木造ご神体（写真展示）

ご祭神伊邪那岐命・伊邪那美命と言われてています

- 正徳4年の宗源宣旨

正徳4年（1714）ご祭神伊邪那岐命・伊邪那美命を奉祀する白鬚大明神として正一位を授与したという宗源宣旨

- 正徳4年の宗源祝詞

宗源宣旨を授与されたときに用いられた宗源祝詞

- 旧主祭神猿田彦大神（拝殿西側・境内北西部中段）



右が伊邪那岐命、左が伊邪那美命の神像

以上

【白鬚神社】
足利市山川町 1076 番地